

# 現行「山形県国際戦略」に基づく取組みと成果、課題について

計画期間：平成27年度～平成31年度（5年間）

平成27年3月に「山形県国際戦略」を策定（計画期間は5年間）。国際交流、観光交流、経済交流を一体的に推進するため、各分野の施策の展開方向である「国際交流の拡大」、「県内企業の海外取引の拡大」、「市場特性に応じた観光誘客の拡大」、「国際物流の推進」に沿って、各般の取組みを推進した。以下、各分野の主な成果等。

## 取組みと成果

## 課題

国際交流の拡大

### (1) 多様な国際交流の促進・経済交流への発展

- 姉妹友好州省との周年事業を通じて関係を強化
  - ▶ 黒龍江省と幅広い分野において交流と協力を推し進める旨の覚書を締結（H30.8.27）
  - ▶ 東北文教大学と伊春職業学院が介護人材育成に係る教職員交流・学生受入に関する覚書を締結（H30.8.25）
- 海外県人会の活動に対する支援
- 海外県人会や姉妹友好州省から将来を担う人材を受入れ、相手国の発展に貢献する人材養成と、県民との交流を通じた友好親善を推進。
  - ▶ H27～H31までに計19名を受入
- JICA草の根技術協力事業を通じた技術協力支援
  - ▶ 中国黒龍江省とインドネシア・パプア州と実施（H28～H30）
  - 中国：土壌環境保全の支援
  - インドネシア：大豆栽培技術向上の支援
- 県内の各団体等の交流活動への支援

### (2) グローバル人材育成の推進

- 県内高等教育機関等と連携した海外留学及び地域企業等でのインターンシップを組み合わせたプログラムを設計
  - ▶ 参加学生数25名（H30～H31）
- 国際交流イベント等への国際交流員の派遣
  - ▶ H28:35件、H29:28件、H30:52件
- 若年層へのパスポート取得支援を通じたアウトバウンドの促進（全国初の取組み R1～）
- 留学生を対象とした県内企業就職支援のための合同説明会開催
- 県内企業への就職を希望する留学生に支給する奨学金制度を創設
- 県内大学等による留学生の入学者募集活動を支援
- 小中学校の英語教育の充実のため、教員を対象とした研修会等を開催
- 中学校区5地区（山形・酒田・新庄・大江・高島）を指定し、新学習指導要領への移行に向けて英語教育を推進

- 「英語ディベート力育成事業（H29～）」として、指導者研修会、高校生英語ディベート大会、高校生を対象としたチャレンジ合宿を実施
- 留学支援事業として、国の補助金による短期留学支援、グローバル語り部等の実施

### (3) 多文化共生の推進

- 外国人総合相談ワンストップセンターを開設し、外国人相談窓口機能を充実
- 国際交流員やJICA青年海外協力隊経験者を活用した学校等での多文化理解講座の開催

目標指標	H25	H30	H31 (目標値)
海外の大学・高校などとの協定・提携件数	176件	267件	240件
国際交流サポーター登録者数	531人	643人	600人

### (多様な国際交流の促進・経済交流への発展)

- ◆ 人的ネットワークや交流実績を活かした経済交流への発展
- ◆ 経済交流や観光交流に大きな役割を果たすことが期待される海外県人会の会員が高齢化。担い手の育成を含めた今後の交流の在り方の検討
- ◆ 高度外国人材の卵である留学生の就職拡大に向けた支援等の取組み

### (グローバル人材育成の推進)

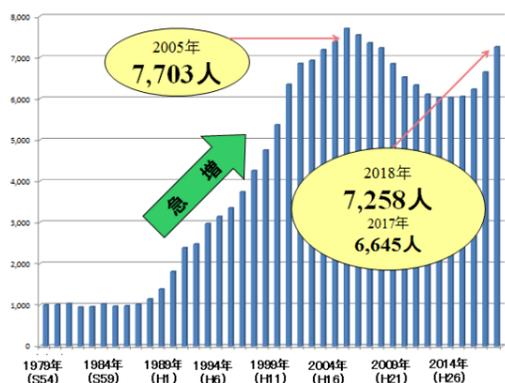
- ◆ グローバル化が加速する中、語学力・コミュニケーション力や多様な文化の習慣や価値観などへの理解力を持つ人材の育成
- ◆ 県内高校生等の海外留学者増に向けた支援等の取組み
- ◆ 新学習指導要領が小学校から順次全面実施となることから、その趣旨に則った英語教育の推進

### (多文化共生の推進)

- ◆ 在住外国人の増加が見込まれる中、言語等の違いによる不安をなくし、地域社会の一員として円滑に生活できる環境の整備
- ◆ 県民による多文化共生社会の理解促進に向けた取組み
- ◆ 国際交流サポーター等の活躍する機会の創出や、新たな人材の掘り起し

## ○ 在住外国人の状況

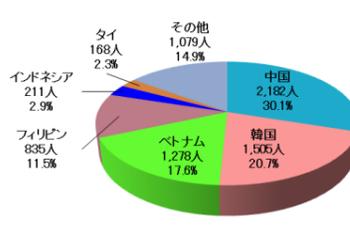
### 1 山形県の外国人人口の推移



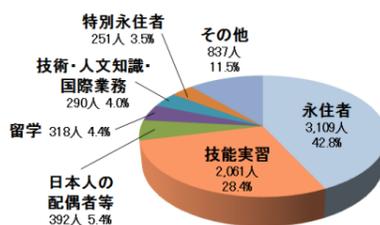
○ 本県の在住外国人はH27以降増加傾向。  
○ H31.4.1 出入国管理及び難民認定法の一部改正により、新たな在留資格「特定技能」が創設されたことから、今後、益々増加が見込まれる。

⇒ 多文化共生の推進に向けた施策展開が必要

### 1-1 国籍別



### 1-2 在留資格

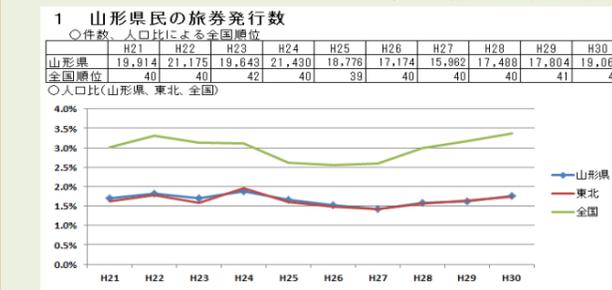


### 1-3 5年前との比較

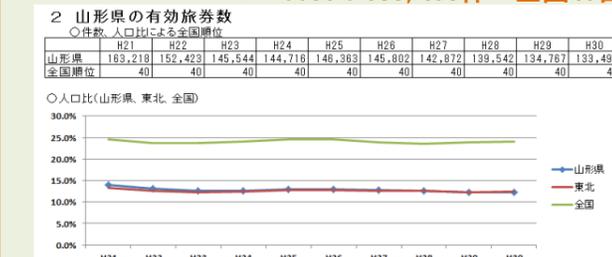
国籍別	2018年			2013年			増減
	人数	割合	増減	人数	割合	増減	
中国	2,182人	30.1%	+15.5%	2,582人	30.1%	-15.5%	
韓国	1,505人	20.7%	-13.7%	1,743人	20.7%	-13.7%	
ベトナム	1,278人	17.6%	+423.8%	244人	17.6%	+423.8%	
フィリピン	835人	11.5%	+26.1%	662人	11.5%	+26.1%	
インドネシア	211人	2.9%	+185.1%	74人	2.9%	+185.1%	
タイ	168人	2.3%	+110.0%	80人	2.3%	+110.0%	
その他	1,079人	14.9%	+67.0%	646人	14.9%	+67.0%	
計	7,258人	100.0%	+20.3%	6,031人	100.0%	+20.3%	

## ○ 本県のアウトバウンドの状況

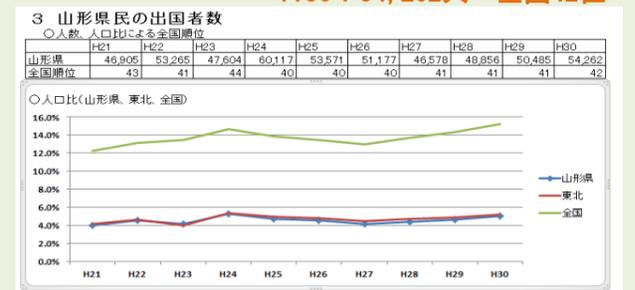
### 1 山形県民の旅券発行数 ⇒ H30：19,066件 全国43位



### 2 山形県の有効旅券数 ⇒ H30：133,493件 全国40位



### 3 山形県民の出国者数 ⇒ H30：54,262人 全国42位



○ H27以降、本県の旅券発行数は毎年増加。併せて県民の出国者数も増加。  
○ H30の人口千人あたりの旅券発行件数は17.5件で全国43位。対前年伸び率は107.1%

### <参考：東北各県の状況>

- ・青森：13.1件（46位）107.6%
- ・岩手：14.3件（45位）106.5%
- ・宮城：22.1件（31位）105.0%
- ・秋田：12.5件（47位）105.3%
- ・福島：18.5件（39位）101.7%